

0104-011 クリノメーター MCA

Clinometer MCA

ケース付き

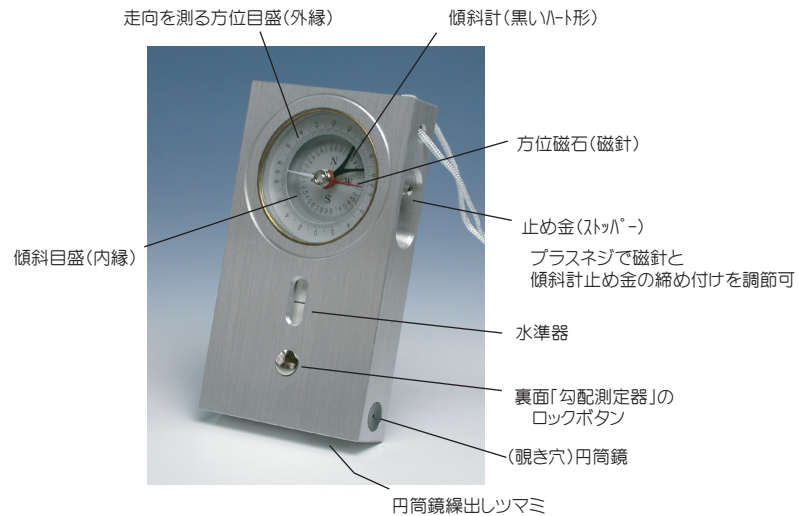
クリノメーターは地層の走向と、傾斜を測定する道具です。

■正面には、水平を確認する「水準器」、走向を測る「方位磁石(磁針)」と「方位目盛(外縁)、傾斜を測る「傾斜計」と「傾斜目盛(内縁)」がついています。方位は東西が逆に示してあります。

■側面には、方位磁石と傾斜計を止めるストッパー、簡易なハンドレベルとして使用できる覗き穴(円筒鏡)がついています。

■裏面には、円筒鏡を使って読む「勾配測定器」がついています。

注意：クリノメーターのガラス窓は落としたり、ぶつけたりの衝撃で割れることがあるので気を付けてください。クリノメーターを水中に落としたり、湿度の高い所に置くと内部に水が入り、方位磁石がガラスに張り付いたり、錆びて動きが悪くなることがあります。また、磁性の強いものに近づけた時や、高圧電線の近くでは磁石が狂い、本来の方向を示さない場合があります。ご注意ください。



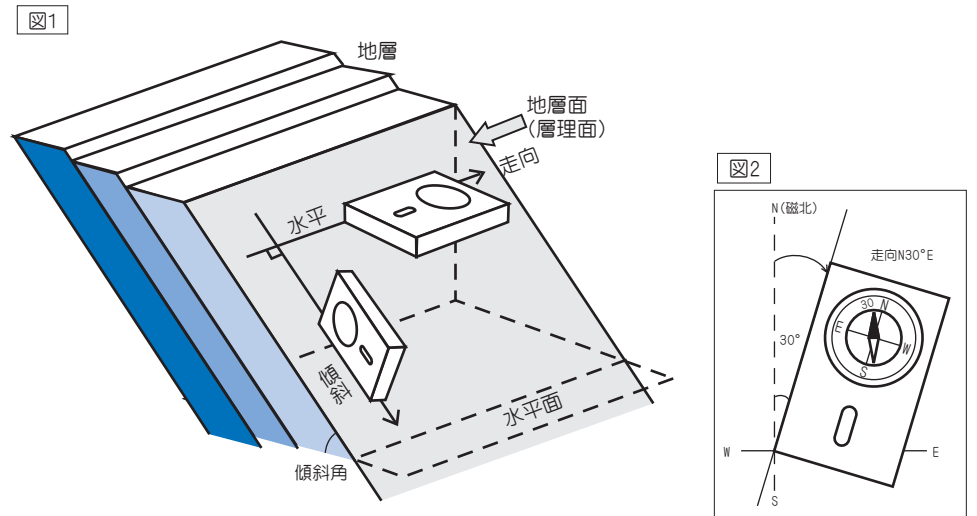
サイズ 110×60×16mm
本体重量 170g

- 地層の走向と傾斜を測定 -

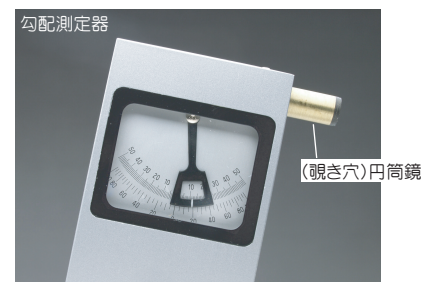
走向は、地層面(層理面)と水平面(高さはどこでもよい)とが交わる向きです。走向を測るには、地層面にクリノメーターの長辺を(水準器で水平になっていることを確認しながら)当て、方位磁石で目盛を直接読みます。

例えば、図2のように磁石が左上の30を差しているなら、数値は<N30°E>(北から30度東にずれている)となります(そのため東西が逆に目盛ってあります)。なお、実際には磁石が指す北は偏角のため真北ではないので、補正が必要です。(偏角は地形図に記載されています。)

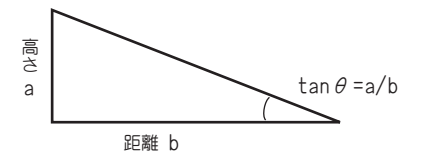
傾斜は、地層面(層理面)が水平面から何度傾いているかで示します。測定する地層面(層理面)上で、走向の方向に対して垂直な向きにクリノメーターを当て傾斜目盛を読みます。走向や傾斜が目の高さより読みにくい場合は、方位磁石や傾斜計をストッパーで固定し、手元を持ってきて読みます。



- 距離を測定 -



円筒鏡を引っ張り出し、目標を見通しながら「勾配測定器」の角度($\tan \theta = a/b$)を読みます。(正面のロックボタンで振子を固定できます)



高さ $a = \text{距離 } b \times (\tan \theta = a/b)$